



すぎ七

杉並区立杉並第七小学校

校長 井口 修

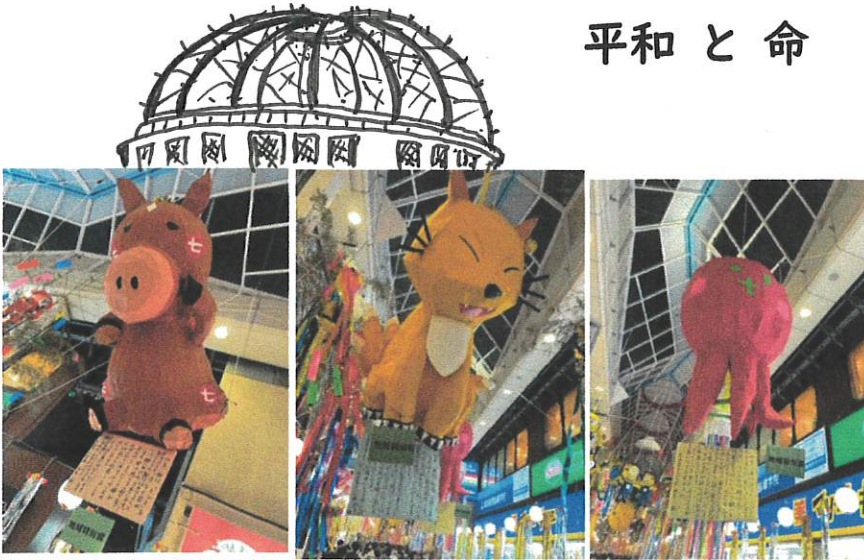
TEL 3392-6328

FAX 3393-7536

令和8年8月31日

平和と命

校長 井口 修



「七うま」1組

「七尾」2組

「タコセマン」3組

阿佐ヶ谷七夕まつりに展示された、4年生のはりぼてです。

夏休みの間に、熊本地震や千葉豪雨をはじめ、各地で自然災害が起きました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、皆様が平穏な日々を取り戻せるよう、お祈りいたします。

夏休み中に開催された「阿佐ヶ谷七夕まつり」に、今年も4年生が作った「はりぼて」が展示されました。作品を眺めていると、通りかかった一般のお客様さんが「これ、小学生の作品だよ！」と驚いたり、作品に込められたメッセージを読んで感心したりしていました。何だか誇らしい気持ちになり、エネルギーが心の底から湧いてきました。作成にあたっては、はりぼて作りのプロの方々にご指導をいただきました。児童発案のデザインを採用してくださり、骨組みの組み上げ、紙の貼り付け、色付けと、すべての工程を体験させていただきました。審査の結果、「地域特別賞」をいただくことができました。阿佐ヶ谷パールセンターをはじめ地域の皆様、保護者の皆様、ご指導ご協力をありがとうございました。

この夏、私は広島市の平和記念公園と原爆ドームを訪れました。崩れかけた建物の姿や、遺品が物語るあまりにも残酷な歴史を前に、言葉を失うほどの強い衝撃を受けました。同時に、私たちが生きている何気ない日常が、いかに多くの犠牲の上に成り立つ尊いものであるかを、改めて深く考えさせられました。夏休み中であつたため、平和記念資料館には、親子の姿も多く見られました。「小学生に受け止められるのだろうか。」と私は子どもたちの様子が気になっていました。子どもたちの反応はそれぞれでしたが、どの子

も真剣な面持ちで、過去に起きた現実に向き合っていました。解説ボランティアさんに質問をする子もいました。その子たちの姿を見て私は、「悲劇を決して風化させてはいけない。私たち大人には過去の歴史から学び、平和を守り続ける責任がある。子どもたちに平和の尊さと命を大切にする心を育てていく。」と強く思いました。

さて、始業式では、今回も子どもたちに「ゆっくりばちばちこう」「誰に相談してもいい、必ず味方になるよ」と2点伝えました。まずは、子どもたちが安心できるようあたたかく見守っていきます。ご家庭で気になることがありましたら、どんな些細なことでも構いません、学校にご一報ください。

今学期も、子どもたちが人から言われたことだけをやるのではなく、自分で考え、判断し、仲間と共にクラスや学校、そして自分を創っていく、そのような力をつけられる指導を目指します。2学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

9月の生活目標 「けじめのある生活をしましょう」

本校では、子どもたちが気持ちよく学校生活を送るために、「けじめのある学校生活」を大切にしています。けじめとは、やるべきことをしっかり行い、周りの人を意識して行動することです。

そのために、まず時間を守って行動すること、そして元気よく返事やあいさつをすることを大切にしています。また、学習用具をきちんと揃えることは、落ち着いて学習に取り組むための基本です。さらに、使った物を元の場所に返すことは、みんなが気持ちよく生活するために欠かせません。

こうした当たり前のことを毎日積み重ねることで、自主性や責任感が育まれます。学校でも継続して指導してまいりますので、ご家庭でもお声かけをお願いいたします。子どもたちのよりよい成長に向け、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

生活指導主任 金井順也